

2000年9月7日(木) 物流ニッポン 総合面掲載 ASP事業に参入 NLF コンサルと相乗効果

日本ロジファクトリー (NLF、青木正一社長、大阪府中央区)は、物流企業のデータ分析の代行システムなどで、アプリケーション・サービス・プロバイダー (ASP 事業)に参入する。コンサルティングに加え、顧客ニーズに合わせた機能を提供することで、業務改善の実施段階まで踏み込んだサービスを目指す。

(1)距離程算出 (2)出荷場所の変更に伴う運賃予測 (3)在庫の回転状況アナウンス (4)効率的な在庫分析 - - など、顧客から預かったデータをシミュレーションするサービスからスタート。コンサルティングと連動させ、相乗効果を狙う

当面は電子メール、フロッピー・ディスクなどでデータの受け渡しを行い、環境が整い次第、オンライン化する。

コンサルティング事業を展開する中で、「アプリケーション・ソフトを購入しても十分に活用しきれない」使いこなせる人材がない」といった相談が多かった。

一方、情報技術の発展に伴い、大半の業務にコンピューターが不可欠になっている」と判断。情報システム構築を提案した場合、必要に応じてアプリケーション・ソフトもリースする体制を整えた。